

教えて発達障害のこと～親と子が前向きに生きていくために～

発達障害について、従来の医学的モデルによる考え方ではなく、何が生活の障壁になっているのか、何が本人にとって不安や恐れや怒りになるのかという考え方もあります。げんきでも、本人の立場に立った支援を心がけています。

このシリーズでは、本人の立場から社会での生活をどうえ、安心して生活していくための支援のあり方について考えていくたいと思います。
 (げんきスタッフによる座談会から再構成しました。)
 困った行動にみえて、当人には必ずそうする理由があります。周囲が「これもありかな」と受け入れることで、みんながより生きやすい社会になつていけばずです。

が終わつたらおしまいね。」など声をかける。親子でそんなやり取りをしていると周りの人から見ても、お母さんが一生懸命子育てしていることが伝わるかもしません。それで、周りの人の理解を得られる良い機会になるのだと思います。

Aさん(母親) 子どもがお店に並んでいる商品が大好きで、触りたがりその場を離れません。本人はお店の人があるといつことを分からないので、「お店の物は触らないで見るだけにしよう。」と伝えてますが、ルールの中であれば興味のあること、好きなことをするのいいのかなとも思います。

S(支援者) 特定のお店で事前に許可をもらひ、並んでいる商品を好きなだけ見せてもらっている方もいます。その経験が活かされ、大人になり陳列の仕事についた方もいます。

T(支援者) 子どもの立場に立つて、子どもが何に気になるのか、何でそうしないではいられないのか、という所に寄り添うことが大切です。子どものすることに付き合いながら「ここ

が終わつたらおしまいね。」など声をかける。親子でそんなやり取りをしていると周りの人から見ても、お母さんが一生懸命子育てしていることが伝わるかもしません。それで、周りの人の理解を得られる良い機会になるのだとと思います。

Bさん(父親) うちの子は、昔は食器を持つて行ってと言つと、その声掛けに怒つて食器を投げて大変でした。でも、親として食器の片付けはしてほしいと長い間、何度も何度も同じように伝え、今は片付けてくれるようになりました。

T 自閉症や発達障害の方は百年間の成長というか、ゆっくり成長していくんだよと見守ることが大切です。子育てのまつ中最中には保護者の気持ちは寄り添い、見守れる環境になればいこともあります。周りの人たちがそんな保護者育ても楽しくなりますね。

世田谷区発達障害相談・療育センター

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前9時～午後6時

利用方法

利用は予約制です。利用を希望される方は、直接『世田谷区発達障害相談・療育センター“げんき”』へお電話にてお申し込みください。

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18

大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階

TEL 03-5727-2235（代表）

03-5727-2236（相談専用）

FAX 03-5727-2238

URL <http://www.ryo-iku.jp>

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

- 東急バス・小田急バス 渋24 成城学園前駅南口 ←→ 渋谷駅
- 東急バス 都立01 等12 用06 成城学園前駅 ←→ 都立大学駅北口
成城学園前駅 ←→ 等々力操車場
成城学園前駅 ←→ 用賀駅
- 小田急バス 渋26 調布駅南口 ←→ 渋谷駅
- 東急コーチ 玉31-32 二子玉川駅 ←→ 成育医療研究センター前

*駐車場はありません。

編集後記

「Gプレスを見て」とセンターにお問い合わせくださることも多くなり、そのような皆様の声に励まされています。世田谷区で長年、自閉症を中心とする発達障害の人たちの支援に携わってきた法人（社会福祉法人嬉泉）の本人の立場にあつた支援の経験を誌面に活かして行きたいと考えています。



業務受託

社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋1-30-9

TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242

URL <http://www.kisenfukushi.com>